

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和4年7月発行

広尾町コミュニティ・スクール

# 広尾っ子応援団だより (No.54)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



## 応援メッセージを紹介します

6月15日の午後、私が車を運転していると、小学生の女の子二人が丸山寿の家の近くにある横断歩道を渡ろうとしていました。車を止めると、その子たちは横断歩道を渡る前と渡った後の二回、私に向かって立ち止まって礼をしてくれました。丁寧なお礼をしてくれてありがとうございます。礼儀正しい姿勢に清々しい気持ちになったのと同時に、私たち大人が子どもたちの見本となるよう交通安全を心掛けなければいけないと改めて思いました。

（町内 20代 男性 6月16日受取）

\* \* \* \* \*

この前、広尾高校の行燈行列がありました。3年ぶりということで、今の生徒さんには、初めての行燈だったと思います。行燈行列と言えば、広高祭の伝統行事であり、卒業生や地域の人たちにとっても大切なものです。コロナ禍で大変な中ですが、この行事を守ってくれた広高生に感謝です。これからも、広高の伝統の力で頑張ってください。

（町内 60代 男性 7月5日受取）

## 「放課後読書等ふれあい広場」より

火曜日と木曜日に、青少年会館で開設している「放課後読書等ふれあい広場」の様子を紹介します。利用できるのは小学4年生以上で、参加した子どもたちは部屋（サテライト応援団本部）にある本やカードゲーム、PC等を使って過ごしています。中には、勉強道具を持ってきて学習する子もおり感心させられます。



また、今年度は時折、中学生の利用もあり、小学生とも交流してくれています。こうした小さなふれあい広場をきっかけに、友だちや異世代との交流がさらに進んでくれることを期待しています。運営側としましても、安全安心な居場所を提供していきます。

## 重点教育目標を目指した授業について

広尾町の先生方は、日々、重点教育目標を念頭に置き、各教科等の教材研究を進めながら、子どもたちの学力向上につながる、よく分かる授業づくりに取り組んでいます。

そこで、重点教育目標を目指した各小・中学校での授業の様子を紹介します。各学校とも子どもたち一人一人が、学習課題に対して集中して考え、一生懸命に学んでいる姿がありました。

### 【広尾中学校（6月23日）：1年A組、国語科】

単元名「資料から得た根拠をもとに意見文を書く」の授業で、自分が集めた情報を整理し生徒同士で交流し、考えを比較しました。交流はワールド・カフェの形を取った少人数での対話で進められました。自分の考えを進んで伝える姿や質問をする姿、相手の意見をうなずきながら聞く姿や懸命にメモを取る姿があり、生徒の積極的に関わろうとする意欲が感じられました。



\* \* \* \* \*

### 【豊似小学校（7月13日）：5，6年、国語科】

5年生は「大造じいさんとがん」、6年生は「川とノリオ」の物語の学習をしました。授業では5年生が単元全体の学習計画を考え、6年生は作品の優れた表現に着目しながらミニ朗読会をしました。子どもたちは先生の発問に的確に答えたり、仲間同士の交流では進んで自分の考えを伝え合ったりするなど、積極的かつ真剣に学習に取り組んでいました。



\* \* \* \* \*

### 【広尾小学校（7月13日）：2年2組、国語科】

「きつねのおきゃくさま」（物語）の授業で、おおかみと戦うきつねの心情の変化を考えました。子どもたちはワークシートにきつねの表情を想像して描いたり、きつねの性格を発表したりしました。ワークシートを持って仲間と交流する場面では、いろいろな友達と話し合うことができました。一人一人が進んで手を挙げ発表する姿が多くありました。



\* \* \* \* \*